



ご存知ですか？愛育班

愛育班(恩賜財団母子愛育会)は、現在の天皇陛下がご誕生の際に母子の健康と福祉向上のために創立された全国的組織です。

市内では、武蔵町全域と国東町の吉木地区で組織され、「こどもからお年寄りまで、地域で健康で明るく生き生きと安心して暮らせるように」みんなで協力し支えあいながら活動しています。

今回は武蔵町での日頃の愛育班の活動と研修会の様子を紹介します。武蔵町では昭和53年に結成され、自治区単位で各班員さんが2年交代で活動しています。

■主な活動

声かけ・見守り活動	愛育だよりを配布しながらご近所に声かけしています。みんなと顔見知りの関係づくりができます。
新聞「愛育だより」の作成・配布	その時期の話題や健康問題等を話題に、班員さん手作りで作成しています。健康レシピが好評です。
声かけ・見守り活動	愛育だよりを配布しながらご近所に声かけしています。みんなと顔見知りの関係づくりができます。
赤ちゃんスタイ等配布活動(よだれかけ)	若いお母さんに愛育班を知ってもらう機会になっています。 *対象は区に入っている世帯が主になります
分班長会議(1回/月) 班員研修会(2回/年)	地域の話題や健康問題など声かけ時の様子を書いた「声かけメモ」を持ち寄りみんなで話し合います。
地域での交流活動	各地区で班員さんを中心に住民同士、世代間交流ができる行事を開催しています。

<班員研修の様子>

10月は、「災害時の心得と愛育班の役割」についての班員研修を行いました。国東市社会福祉協議会の藤原龍司氏(大分県防災アドバイザー)を講師にお招きし、実際に災害にあった地域の話や映像を交えて聞きました。災害は自分たちにも起こりうることで、個人として日頃から気をつけること、「愛育班員」として地域でどんなことができるのかを考えるよい機会となりました。

愛育班としての活動の基本である、日頃からの声かけや見守り活動は、地域に「支えあい、助け合いの習慣」をつくります。この活動が災害時に「誰もが安心して暮らせる地域づくり」につながるという再認識ができました。愛育班だけでなく、地域で活動する民生委員の訪問活動や老人クラブの友愛訪問活動等も合わせて行うことで地域づくりが充実するというお話にこれからの活動へのさらなる意欲を感じました。このほかに、非常時の炊飯袋を利用した炊き出しの実習や試食も併せて行いました。

こういった研修会を持つことで愛育班員としての地域での役割を意識し、地域づくりを担っていこうと活動しています。(報告:武蔵町愛育班会長 佐木恵子さん)



12月1日は「いのちの日」です。

自殺予防と心の健康について考える日です。日本で、2001年に制定されました。

問い合わせ

国見総合支所 地域市民健康課 ☎ 0978-82-1112 武蔵保健福祉センター ☎ 0978-68-1184
国東保健センター ☎ 0978-73-2450 安岐総合支所 地域市民健康課 ☎ 0978-67-1114



第3条 何でんかんでん 見ちみち 聞いちみち 言うちみちやっちみる
(いろんなことに好奇心をもちましょう)

第4条 かてちもろうち かてちやげちみんなじ いいとぎを いみしちいこえ
(いい仲間づくりをしましょう)

つづく